

【M 雲仙市-小浜エリア（雲仙温泉）Unzen City-Obama Area (Unzen Onsen)】



“雲仙岳の呼吸”が観られる雲仙地獄から（矢岳）

雲仙市-小浜エリア(雲仙温泉)では、“[西面の雲仙岳](#)”が眺望できます。小学校の校歌には雲仙岳が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。山並みとしては、矢岳と絹笠山にはさまれた雲仙地獄を核として、両山の山頂から国見岳・妙見岳・平成新山～野岳という並びで眺望できるほか、九千部岳や高岩山も別の方向に眺められます。

雲仙岳中腹に湧き出る雲仙温泉は、西方の橘湾の底にあるとされる雲仙岳のマグマだまりから上昇してくる高温の火山ガスが、雨水や湧水と出会うと形成される高温酸性の硫黄泉で、火山ガスと共に湧き出して地獄景観を作り出しています(↑)。地獄の火山ガスの量は、平成新山山頂部よりも格段に多く、いわば“雲仙岳の呼吸口”です。この噴気は遠方からでも視認でき、雲仙岳の旧名“温泉山(温泉湧く山)”の由来ともなっています。雲仙岳の山岳信仰が盛んであった往時をしのばせるものとして、その中核であった温泉山満明寺(701年開山)の系譜を引く雲仙山満明寺と温泉神社(本宮)が現存しており、地獄散策しながら1300年前に思いを馳せることができます。

江戸時代初期の“島原・天草一揆”の際には、当時の小浜村の村民の約半数が一揆に参加したとされています。それに先立つキリシタン弾圧の際、雲仙地獄は拷問・殉教の舞台となりました。

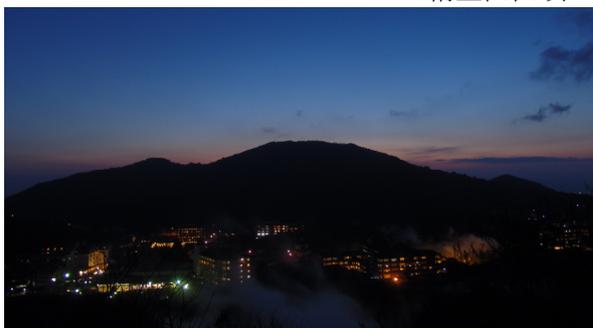
明治以降は、特に上海駐在の外交関係者らにとって人気の避暑地となり、多くの外国人旅行者を受け入れながら、雲仙温泉街は日本初の海外向けリゾート地として発展しました。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、雲仙温泉一帯を旅してみませんか？

●小浜エリア(雲仙温泉)の観光情報はこちら ⇒ 雲仙温泉観光協会 <http://www.unzen.org/>



絹笠山山頂から(西から)



矢岳中腹から(夜の雲仙温泉街と絹笠山)



白雲の池のほとりから(国見岳・妙見岳)

草野 俊彦氏